

11 乾田直播栽培における分けつの発生状況と有効分けつ発生時期

福島県農業試験場相馬支場・平成12年度農業試験場試験成績概要

1 部門名 水稻－水稻－水稻直播－形態・生育相 分類コード 01－01－75040000

2 担当者 木田義信・半沢伸治・斎藤弘文・吉田直史

3 要 旨

「はたじるし」「まなむすめ」「ひとめぼれ」の乾田直播栽培における分けつの発生状況と有効分けつが発生した時期について検討した。

(1) 一次分けつは7月15日まで発生がみられるものの、有効茎になりやすいのは6月30日までに発生した分けつであった。

(2) 4月下旬播種では各品種とも、収量に寄与する分けつは3・4節であった。また、4月中旬、5月上旬播種の「ひとめぼれ」でも収量には3・4節からの分けつが寄与していた。このことから、乾田直播栽培では主茎と3・4節で発生した分けつが収量を構成しているといえた。

(3) 各品種とも、3・4節からの分けつは、1999年のような春期高温年では6月15～20日、2000年のような春期低温年では6月20～25日に発生していた。

(4) 3・4節の分けつが発生する6月15～25日の葉齢は、6～7葉抽出期であった。

(5) 以上のように、乾田直播栽培イネの収量は主茎と3・4節で発生した分けつで構成されており、収量に寄与する3・4節からの分けつは、暦日で6月15～25日、生育ステージで6～7葉抽出期に発生していた。このことから、乾田直播栽培でも初期茎数の確保が重要 であるといえる。

4 主な参考文献・資料

(1)平成9～11年度春夏作試験成績概要(相馬支場)